

食に関する指導の 評価手法について

～教育委員会向け概要資料～

目 次

1. 概要	1
(1) はじめに	1
(2) 「食に関する指導の評価手法」の考え方	1
(3) 「食に関する指導の評価手法」の活用イメージ	1
2. 評価規準	2
(1) 評価の枠組み	2
(2) 評価項目	2
3. 評価の測定方法(例)	3
(1) 児童・生徒に対する調査	3
(2) 学校・栄養教諭・教員アンケート	4
4. 試験調査の問題について	5
5. 調査終了後	6
(1) 結果の取りまとめ方	6
(2) 結果の活用	7
6. 【別添】参考資料について	8

1. 概要

(1) はじめに

社会環境が大きく変化し、児童生徒が健全な食生活を実践することが困難な場面が増え、食物アレルギーや偏食等、食に関する健康上の課題が多様化している状況にあっては、児童生徒が食に関する健康上の問題に興味・関心を持ち、課題を自分事として捉え、解決していこうとする食の自己管理能力を育むことが重要です。

そのため、児童生徒が食に関する正しい理解や適切な判断力、望ましい食習慣を身に付けることができるよう、学校において食育を更に充実していく必要があります。

文部科学省では、各教育委員会・学校が、学校現場の実態に即した現実的かつ持続可能な評価を行えるように「食に関する指導の評価手法(以下、食評価手法)」を開発しました。

教育委員会における「食に関する指導」の振興策の検討や学校現場での食に関する指導の改善など、様々な場面で本食評価手法を御活用ください。

(2) 「食に関する指導の評価手法」の考え方

- 文部科学省において全国的に統一的な評価ツールとして本食評価手法を作成しました。この食評価手法を用いて全国の教育委員会、あるいは学校が主体的に評価活動を行うことを想定しています。
- 本食評価手法は、学校現場における「食に関する指導」の質の更なる向上を目的としており、児童生徒個人の評価を測るものではありません。

(3) 「食に関する指導の評価手法」の活用イメージ

学校における児童生徒への食に関する指導の充実や改善等に役立てると共に、食に関する指導の継続的な検証改善サイクルを確立する。

- 都道府県・市町村の「食に関する指導」についての振興策の検討材料とする。
- 学校現場で、食に関する指導を PDCA サイクルで取り組むための基礎資料とする。
- 栄養教諭の食に関する指導の効果を「見える化」するためのツールとして活用する。

例

- ・教育委員会等の給食部会において、年間の活動の評価ツールとして活用する
- ・学校で食に関する指導の全体計画を作成するための、基礎となるエビデンスとして使用

2. 評価規準

(1) 評価の枠組み

評価を実施するにあたり、教育現場で行っている「学習指導要領」に示されている各教科の目標や内容に基づいた学習状況を評価する学習評価の基本的な考え方を踏まえた枠組みとする。具体的には、各教科における観点別学習状況の評価の3観点である「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を軸に評価項目を設定した。なお、「主体的に学習に取り組む態度」については、そのものを測定することは難しいことから、『「主体的に学習に取り組む態度」と関連した評価』として位置付けて整理している。

食に関する指導の考え方については、文部科学省「食に関する指導の手引－第二次改訂版－」をベースとする。特に【食育の視点(6つ)】を評価項目の枠組みとする。

▼枠組みのイメージ

食育の視点 (観点) 学習指導要領	食事の重要性	心身の健康	食品を選択する能力	感謝の心	社会性	食文化
知識・技能						
思考・判断・表現						
「主体的に学習に取り組む態度」と関連した評価						

(2) 評価項目

文部科学省教材(小学生用食育教材「たのしい食事つながる食育」(平成28年2月)、中学生用食育教材(令和3年3月))での指導内容を踏まえて、食育の視点に対応した評価項目を以下のように定めた。

食育の視点	対応する評価項目＜小学校＞	対応する評価項目＜中学校＞
【食事の重要性】	・ 朝食の大切さ、必要性	・ 食事と栄養補給 ・ 朝食の大切さ
【心身の健康】	・ 3つの食品群 ・ 五大栄養素、栄養バランス ・ 食事と健康	・ 体づくり ・ 必要な心身の健康 ・ 栄養バランス、栄養素 ・ 食事と健康
【食品を選択する能力】	・ 食品ロス ・ 食品衛生	・ 食品ロス ・ 食品衛生
【感謝の心】	・ 感謝の心(行動)	・ 感謝の心(行動)
【社会性】	・ 食事マナー	・ 食事マナー
【食文化】	・ 日本の食文化 ・ 行事食への関心	・ 世界の食文化 ・ 日本の食文化 ・ 世界の食事情

◎小学生用:文部科学省食育教材「たのしい食事つながる食育」(平成28年2月)

◎中学生用:文部科学省食育教材(令和3年3月)及び(令和6年度改訂版)

3. 評価の測定方法(例)

(1) 児童・生徒に対する調査

以下を実施し、食育の視点ごとの達成状況を把握する。

対象 小学校第6学年、中学校第3学年

方法 アンケート形式

(Microsoft Forms、Google フォームなど Web アンケートの使用を想定)

-担任等の先生がいる状態で、教室等において一斉に実施(朝の会、HR などを利用)

-教科書やWEB サイトなど資料をみない状態での回答

内容 ①「知識・技能」、「思考・判断・表現」に関する試験調査

出題範囲は、調査する学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、前頁の評価項目にあわせて出題をする。

②「『主体的に学習に取り組む態度』と関連した評価」に関する質問紙調査

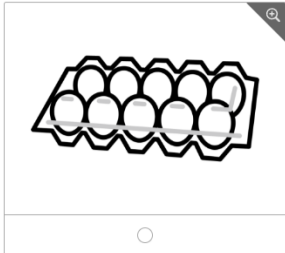
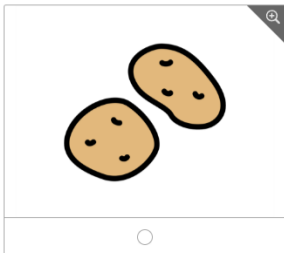
前頁の評価項目に関して、食に対する興味・関心や、食に関する指導の実践状況、食に関する生活習慣などを把握する。

調査問題(アンケート)では、上記①と②を一体的に問うこととする。

時間 ①②あわせて 30 分(学校の裁量で短くすることは可能)

▼問題例(標準問題を、※調査票例は、別添の参考資料に掲載)

12. 次の中から、必ず冷蔵庫に保存すべきものを選んでください。

 ①干しシイタケ	 ②卵
 ③ジャガイモ	 ④米

(2) 学校・栄養教諭・教員アンケート

栄養教職員の配置や、教科や給食の時間等における食の指導の状況等、児童生徒の調査結果との結び付きが強いと考えられる内容について、それらを把握するとともにその相関関係等を分析することで、食に関する指導の改善に結びつけることができる。

これらを踏まえ、学校(管理職)、栄養教諭、教員(担任)を対象とした質問紙調査を同時に実施することで、評価結果の活用場面が広がる。

学校・教員アンケートの実施方法(例)として、以下があげられる。

学校アンケート/栄養教諭アンケート(例)	
対象	管理職、栄養教諭
方法	質問紙調査(Microsoft Forms、Google フォームなど Web アンケートの使用を想定)
内容	・ 栄養教諭・学校栄養職員の配置状況(学校が把握しているかどうかの確認) ・ 栄養教諭・学校栄養職員の訪問頻度★ ・ 食に関する指導実施の有無、指導の頻度 ・ 食に関する指導を推進する組織等設置の有無、および担当者の有無 ・ 食に関する指導実施場面(教科・活動等) ・ 食に関する指導にて取り扱っている内容、文部科学省発行の食育用教材の活用の有無★ ・ 栄養教諭・学校栄養職員による食に関する指導実施の有無・指導場面(教科・活動等)★ ・ 保護者に対する、食に関する指導の情報発信の有無★ ・ 食に関する指導を推進する上での課題★ ★は、学校/栄養教諭の両方のアンケートの質問。無印は学校アンケートのみ

※調査票例は、別添の参考資料を参照のこと。

教員アンケート(例)	
対象	児童生徒調査を実施した学級の担任
方法	質問紙調査(Microsoft Forms、Google フォームなど Web アンケートの使用を想定)
内容	・ 児童・生徒アンケート実施日時 ・ 全児童・生徒のアンケート回答所要時間 ・ 児童・生徒からの、アンケートに関する質問の有無、およびその内容 ・ 今年度の食に関する指導実施(予定含む)の有無、およびその教科・活動等 ・ 文部科学省発行の食育用教材の活用の有無 ・ 給食(昼食)時間やその他の時間(授業以外)での、児童・生徒への「食」に関する話・声かけの有無 ・ 食に関する指導を推進する上での課題

※調査票例は、別添の参考資料を参照のこと。

4. 試験調査の問題について

参考資料に児童アンケート設問例、生徒アンケート設問例として標準問題を掲載している。今後、各自治体や学校で評価を行うためのツールとして活用いただくことを想定している。

各教育委員会・学校において、必要に応じて新たな質問を作成いただき評価項目を追加・修正いただくことも可能である。

作問作成の考え方を以下に示す。

作成の考え方

- ✚ 「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点、「食に関する指導の手引－第二次改訂版－（平成31年3月）」に示されている「食育の視点」6項目を評価の項目の枠組みとし、文部科学省教材をベースに作成する（P2 参照）。
- ✚ 単一回答の設問とし、選択肢は4つとする。
- ✚ ひっかけ問題でなく、何を聞かれているかが明確、かつ単純な文章の設問にする。
- ✚ 「思考・判断・表現」の設問は、選択肢で思考・判断・表現を問うため、4択それぞれの選択肢の文章中に複数の要素を入れ、思考・判断が必要となるよう留意し作成する。（例）事例に対して場面や状況を示し、「適切なものを選択」、もしくは「課題を選択」、「組合せ・順番を考える」、等
- ✚ 「主体的に学習に取り組む態度」に関する質問は、行動ではなく態度を測る。そのため、事象に対して「行う意思」があるかどうかを問う内容とする。
- ✚ 学校現場の負担にならないよう問題数を増やしすぎないようにする（現在の質問での児童生徒の平均回答時間は10分程度）。朝の会、HR などでの実施が可能な分量とする。

5. 調査終了後

(1) 結果の取りまとめ方

- 調査結果は、全体値及び学校別等の正答数・正答率(態度に関する質問は「している」割合)をとりまとめる。
- さらに、3観点・6つの視点を踏まえた評価マトリクスに整理し、学校全体・地域全体としての食に関する指導の成果や課題等を分析する。
- 学校ごとに正答率に大きく差がある項目については、質問紙調査の項目とのクロス集計を行うなど、その要因と考えられる項目との相関を分析する。
- 教育委員会で実施した場合は、上記で作成した表の全体値、学校平均値を、各学校に配布することが望ましい。

▼エクセルで取りまとめる場合の例

				〇〇県 全体値	〇〇小学校
(観点) 学習指導要領	食育の視点	設問	回答時間	0:06:10	0:06:07
知識・技能	社会性	1. 給食の時間のときに必要なことで、当てはまらないものを選んでください。	選択肢	回答割合	回答割合
			①みんなで準備する	16.39%	11.46%
			②休み時間に向けた準備もする	47.54%	42.04%
			③みんなで楽しく食べる	29.51%	36.31%
			④みんなで片づける	4.92%	8.28%
			無回答	1.64%	1.91%
『主体的に 学習に取り組む 態度』と関連 した評価	感謝の心	2. あなたは、いつも食事の前に「いただきます」を言っていますか。	①必ず言っている	83.61%	80.25%
			②だいたい言っている	6.56%	9.55%
			③あまり言っていない	4.92%	5.10%
			④言っていない	3.28%	4.46%
			無回答	1.64%	0.64%
知識・技能	心身の健康	3. 次の中から、「主に体の調子を整えるものになる食品」を選んでください。	①ごはん	26.23%	12.10%
			②たまご	4.92%	13.38%
			③はくさい	57.38%	64.33%
			④牛乳	9.84%	9.55%
			無回答	1.64%	0.64%
知識・技能	心身の健康	4. 次の中から、いも・かぼちゃ・たまねぎの保存場所として正しいものを選んでください。	①冷暗所	93.44%	92.36%
			②野菜室	1.64%	1.27%
			③冷蔵庫	3.28%	3.18%
			④冷凍庫	0.00%	1.27%
			無回答	1.64%	1.91%
思考力・ 判断力・ 表現力	心身の健康	5. 給食を食べる前の手洗いの動作について、次のA～Eの正しい順番を、1番から5番まで記入してください。	完全正解	83.61%	80.25%
				6.56%	5.55%

▼評価マトリクス整理イメージ

	食育の視点	食事の重要性	心身の健康	食品を選択する能力	感謝の心	社会性	食文化
(観点) 学習指導要領	正答率 平均値 (計)	〇〇%	〇〇%	〇〇%	〇〇%	〇〇%	〇〇%
知識・技能	〇〇%		〇〇%	〇〇%		〇〇%	〇〇%
思考・判断・表現	〇〇%	〇〇%	〇〇%	〇〇%			
「主体的に学習に取り組む態度」と関連した評価	〇〇%	〇〇%	〇〇%		〇〇%	〇〇%	

(2) 結果の活用

例えば、以下のような活用方法が想定される。

教育委員会

域内の食に関する指導の改善に向けた取組を推進

例

- ・栄養教諭の配置等の推進・工夫
- ・地産地消に関する指導との連携
- ・食に関する指導教材の改善のための資料の作成
- ・保護者や地域と連携した取組
- ・特に効果の大きかった取組についての横展開
- ・特に相関の大きかった項目についての環境整備推進
- ・あまり効果の見られなかった取組についての見直し推進

など

学校

各学校の課題に応じた食に関する指導の改善に向けた取組を推進

例

- ①食に関する指導の善……………
 - ・食育の視点別の結果を踏まえた食に関する指導の取組改善・校内研修
 - ・食習慣に関する保護者への働きかけ
 - ・給食の時間における指導の充実
- ②全体計画の改善……………
 - ・全体計画の「食育推進の評価」欄のデータのエビデンス取得のために本食評価手法を活用し、成果を数値で表す
- ③研修や保護者への周知など周辺での活用……………
 - ・学年全体、クラス単位での集団の課題・つまづきを特定し、研修等の資料にする
 - ・食習慣に関する保護者への働きかけの資料に活用する

6. 【別添】参考資料について

教育委員会用

- 【別添①】 評価マトリクスシート
- 【別添②】 児童アンケート設問例テンプレート
- 【別添③】 生徒アンケート設問例テンプレート
- 【別添④】 学校アンケート設問例テンプレート
- 【別添⑤】 栄養教諭アンケート設問例テンプレート
- 【別添⑥】 教員アンケート設問例テンプレート
- 【別添⑦～⑫】Microsoft Forms マニュアル、及びクイックインポート用フォーマット 5種
- 【別添⑬～⑰】各アンケート<見本> pdf 5種

学校配布用

- 【学校用別添①】 食に関する指導の評価実施について(仮題)～学校向け説明資料～
- 【学校用別添②】 児童アンケート解説
- 【学校用別添③】 生徒アンケート解説